

神奈川大学工学部 電気電子情報工学科 同窓会会報

平成 24 年 10 月 No.20

〒221-8686

横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

神奈川大学工学部電気電子情報工学科同窓会

TEL : 045-481-5661(大学代表)

FAX : 045-491-7915(大学代表)

E-mail: dousokai@or.tv

<http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>

同窓会会長挨拶

土肥 健一 (昭和 41 年卒)

平成 24 年度電気同窓会会報の発行にあたり、会員ならびに教職員の皆様の同窓会活動へのご理解、ご指導に対し、ここに改めて厚く謝意を表す次第でございます。本同窓会は今年、設立 20 周年の節目の年にあたります。今後電気同窓生 (一万三千人) の多くの皆様の参加を頂き、活動の活性化に更に努める所存でございます。宜しくご協力、ご支援の程お願い申し上げます。

私達の母校、神奈川大学はいま 2028 年の創立 100 周年に向けた「将来構想」を策定し、グローバル化の加速、教育・研究活動の改革ならびに東日本大震災のボランティア支援などの正課外活動への取組等、諸施策を積極的に推進していることとはご承知のことと存じます。

電気同窓会においても「より大学・学科の発展に資する同窓会活動へ」を目指し、鋭意活動を進めております。学科セミナーや特別講義への講師派遣、オープンラボやテクノフェスタへの O B 参

加および新たに O B による就職面接指導などを実施・計画する一方で、「企業 O B 会」の設立や「準会員」制度の制定など同窓会組織体制の強化にも努めているところであります。

このような同窓会活動が、会員の皆様の切磋琢磨の場としても大いに活用され、皆様の社会での活躍の支えになることを願うものであります。ご案内のように、来る 10 月 21 日には「平成 24 年度電気同窓会総会」を大学講堂で挙行政致します。ぜひ多くの皆様に出席して頂き相互に親交を深めながら、本同窓会へのご意見、ご助言など忌憚のないご指導を賜りたく宜しくお願い申し上げます。



同窓会会長 土肥 健一

電気電子情報工学主任科挨拶

電気電子情報工学科主任 島 健

ルネサス、エルピーダ、シャープ等日本を代表してきた大手電機メーカーに危機が訪れています。シャープでいえば、神奈川県内だけで、2 次下請けまで含めると 15 万人程度が影響を受けると言われています。一方で、OEM で頭角をあらわしてしてきたのが台湾の TSMC やホンハイです。韓国のサムソンもまさに飛ぶ鳥を落とす勢いです。なぜ、これほどまでに急激に日本メーカーが力を失ってきたかということについては様々な分析がなされています。その中に、技術が成熟し真似が容易になったからだとの見解があります。私はこの見解に大いに疑問を抱いています。学生時代、仙台の地で工学とは 1 円でも安く作る学問であるというのを聞いて心に響いたのを思

い出します。日本は成功しました。その成功は 1,000 万台の製品を大量生産する技術にあったと思います。日本が指をくわえて見ていなければならぬ彼らの成功は、おそらく 10 億台の製品を大量生産する技術にあるのだと思います。10 億台も売ろうと思えば、先進国ばかりでなく、開発途上国にも売れるものでないつつつまがありません。そのような製品はもはや日本がこれまで目指してきた高付加価値製品ではなく、徹底的にコストダウンを図った値段の安い製品です。値段が安いということを侮ってはいけません。そこには「工学」が目指す 1 円でも安く作るという工学の本質が隠れています。今の日本メーカーの惨状は工学の本質を忘れてしまったことによる自然の成行きとも言えるかもしれません。

一方でこのような社会の変化は元をただせば技術の成熟にあるのは紛れもない事実です。文科

省は将来を見据え大学に 21 世紀のキーワードである「知識基盤社会」を支える人材の育成を求めています。豊かな学力に基づいて新しい社会を切り開いていくことのできる人材の育成はこれからの日本を支えていくために、ますます重要になると考えられます。すなわち、大学ではいま教育の本質とは何かが改めて問われております。学科教員一同このことを肝に命じて学生教育を進めていく所存です。同窓生諸氏のさまざまな側面からのご助言、ご協力をこれまで以上にいただけますよう心よりお願い申し上げます。

学科の近況ですが、23 号館、16 号館の教室の明かりが夜遅くまで輝き多くの卒業生を輩出した 2 部が最後の一名の卒業生を送り出し名実共に廃止されました。それに伴い学科の研究室数が 17 研究室から漸次 12 研究室へととなります。研究室数を減らすため、辻野先生、許先生、大野先生のご退職に伴う後任の採用はございませんでした。大野研究室の廃止に伴い、米田征司准教授が能登研究室へと移動となりました。また、木下研究室の鈴木一弘助教が 2011 年 8 月 1 日付けで高知大学理学部へ助教として転出されたため、2012 年 4

月 1 日より宮田純子助手が東工大より赴任されました。研究においては、穴田研陳助教が電子情報通信学会より「電子情報通信学会・エレクトロニクスシミュレーション研究会専門委員会・2011 年度若手部門優秀論文発表賞」を受賞しました。在学生の活躍としては、渡辺研山本君が渡辺教授、山口助教の指導のもと平成 23 年電気関係学会関西支部連合大会 優秀論文発表賞を受賞しました。以上ご報告申し上げます。末筆ながら、同窓生諸氏のますますのご活躍を心より期待いたしております。



2012 年工学部・理学部リニューアル HP

◆電気電子情報工学科の近況報告◆

「電気電子情報工学科」に学科名称を変更

本学科は 2012 年 4 月より「電気電子情報工学科」に学科名称変更を変更いたしました。これは 2012 年度の工学部・理学部リニューアルの一環として実施されました。新しい学科名には「電気、電子、情報分野の新技术に継続的に対応できる基礎学力を備えた技術者を育成し、電気・電子技術、電

気・情報技術、電子・情報技術などの複数の分野を結びつけ最新の技術を新しい「モノづくり」に展開・応用する力を育む」という想いが込められています。本学科はこれで 1949 年の学制改革時を入れて 5 度目の改称とはなりますが、横浜専門学校での設立以来からの学科の精神は連綿と受け継がれております。本学科を盛り上げていくために現職の教職員一同の努力と共に卒業生の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

同窓会の活動

「企業 OB 会」について

昨年の総会において設置されました、主要企業に勤務されている OB が窓口となり同窓会の活性化に協力していただく「企業 OB 会」ですが、現在 6 社の OB から担当を承諾していただきました。卒業生の方で本「企業 OB 会」に参加いただける方を広く募集しています。是非ともご協力お願い致します。



神大テクノフェスタ同窓会ブースの 1 コマ

「神大テクノフェスタ 2012」に同窓会として 3 年連続参加予定

工学部活性化の起爆剤として、学部及び工学研究所が中心となり、工学部教員による先端的研究の紹介と大学院生によるポスター発表及び企業

展示を行っている神大テクノフェスタに、当同窓会は 2 年連続で参加し、学生の将来の進路の相談コーナーを設けました。昨年も約 100 名近い学生が押し寄せ、学生や工学部長からも好評でした。今年度も 12 月 14 日 (金) に神大テクノフェスタ 2012 が計画され、同窓会として 3 年連続で参

加する予定です。卒業生の方で企業体験談をお話して下さる方を広く募集しています。是非、電気電子情報工学科支援をお願いする次第です。周りの OB/OG の方に声をかけていただき、参加していただければと思っております。

＜神大テクノフェスタ開催日時＞

日時：2012 年 12 月 14 日 (金)

場所および内容：未定

※決まり次第、大学 HP に掲載されます。

「学内講義への OB 紹介」について

現役学生に対し、卒業生・社会人としてのアドバイスや業界・企業情報を提供するための、同窓会施策をご紹介します。一昨年から続けている、1 年生対象の「電気電子情報入門」、3・4 年生院生対象の「電子情報特別講義」および「研究室交流会」への講師派遣です。今年度は、6 月に 1 年生対象の 2 つの施策を実施いたしました。両講義

ともに学生からは大変好評を博しております。

また、講演に引き続き、各講師の方々には、出身研究室にて 3・4 年生との研究室交流会を実施しています。卒業生から在校生へのアドバイスをを行うと共に、研究室教員との旧交を温める会です。同窓会の目的の一つである「学科の発展」のために同窓会主体で計画されました。本学内講義への OB 参加につきまして、同窓会員の方々で我こそはと思われる方は同窓会役員までご連絡下さい。



電気電子情報入門での講演：中沢副会長

◇◇◇受講生の声◇◇◇

OB の話は、前回もそうでしたが、とてもタメになります。社会に身を置いている人のアドバイスは、ダイレクトに就職に繋がっています。また、なかなか世代が違う方と話す(話を聞く)機会はないので、この講義はとても役に立ちます。自分と同じ道を選んで成功した人の話は、よい刺激になりますし目標になります。私も先輩方に追いつけるように、今日のアドバイスを活かして頑張りたいと思います。

卒業生の声

平成 5 年 (1993 年) 電気工学科卒・島倉信雄

平成 5 年に遠藤信行研究室にて博士前期課程を終了しました。神奈川大学を卒業後、CRAY RESEARCH 社という外資系スパコンメーカーに就職しました。当時は、「米国の国宝」と呼ばれるほどの勢いのある会社ですが、数年後には、ハリウッドで CG 革命を起こした Silicon Graphics 社に買収されました。その Silicon Graphics 社も「米国ハイテク企業のモデル」と賞賛されるも、PC の台頭により業績が悪化し、ニューヨーク証券取引所からの上場取り消しなど、激しい浮き沈みを経験しました。神奈川大学を卒業してから 10 年後に、海洋科学技術センター (現 独立行政法人海洋研究開発機構) に転職し、現在に至っております。海洋研究開発機構に入社して、遠藤信行教授が音響学会における第一人者であることを、日々実感しているところです。平成 23 年には、電子情報特別講義の講師を担当する機会を与えて下さり、その際に 10 年ぶりに遠藤信行研究室を訪問しました。卒業して母校を訪れることで、

電気工学科同窓会幹事の連絡先

学外幹事：河上：upstream446@yahoo.co.jp

大槻：otsuki@jdsolve.co.jp

学内幹事：平岡：hiraoka@kanagawa-u.ac.jp

土屋：kenshin@kanagawa-u.ac.jp

神大テクノフェスタに関する幹事の連絡先

学外幹事：輪島：waji@jp.fujitsu.com

増淵：doubleyellow1231@yahoo.co.jp

学内幹事：同窓会幹事と同じ。



電子情報特別講義での講演：島倉氏

改めて恩師である遠藤先生の有り難さ、偉大さ、そして暖かさと居心地良さを痛感いたしました。

昭和 57 年 (1982 年) 電気工学科卒 外池良司

昭和57年に電気工学科を卒業して30年の月日が経ちました。昨年、勤め先の関係で同窓会に関わりを持たせていただくようになり、30年という月日とともに電気工学科が電子情報フロンティア学科に変わっていたことに時代の流れ、そして寂しさも感じていました。しかし本年4月に電気電子情報工学科に変更されて、やはり電気という基本は変わらないなと勝手に安心しています。

思えば私が卒業したころは、8ビットマイコンが個人でも使われるようになっていたと思います。学生のころはコンピューターに馴染めず、研究室を選ぶ時にも「これからはコンピューターの時代」という流れを横目にいわゆる強電の鈴木誠先生の研究室を選びました。そんな私は、先生の紹介もあり総合電気メーカー関連のエンジニアリング会社に就職し、途中同系列の建設会社との合併がありました。勤続30年となりました。現在は、火力・水力発電、変電の建設・改良保全関係を担当する事業部で企画・管理業務に携っています。幸いコンピューターは道具として使わせていただきながら、強電専攻を後悔すること無く今に至っています。

この機会に振り返ってみると、時代の流れに沿った訳ではありませんが、私は技術系の割には経験した部署が多い方だと思います。火力発電を中心に、技術関連では現場から本社、建設部門から改良保全部門、国内担当から海外担当、また企画・管理関連では、予算・業績管理から経営企画と多くの業務を経験してきました。部署が変わる事で

同窓会のホームページと連絡先について

現在、随時会員が参加しやすいように、メニュー形式のHPにリニューアルしております。総会や各種のイベントの写真をスライドショーにて表示可能とし、過去の同窓会会報も入手できます。連絡用のフォームもありますのでお気軽にご利用下さい。同窓会HPアドレス：

<http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>

不利になることもありますが、幸い私には色々な事を経験したことが有利に働いたようで、また適当な間隔で職場が変わったことが私自身のモチベーション維持にも繋がりました。運が良かったなと思う反面、それは降って湧いた事ではなく、それなりに作用することがあったとも思っています。これまでの自分を考えると、「約束を守る。そのための努力は惜しまない」「細かいことに囚われず、大局的な観点で考える」ということを実践してきました。格好良く言えばそういうことですが、実は「気が小さい」「細かいところまで気が回らない」ことがそうさせていたとも言えます。計らずとも自分の性格をうまく仕事に活かしていたということでしょうか。会社生活も残すところ10年を切りました。いつまでモチベーション維持できるかわかりませんが、最後まで自分の性格を活かして仕事ができればと願っています。またこんな話が後輩の皆さんの参考になれば幸いです。

平成23年度総会報告と第20回記念総会開催案内

平成23年度総会・懇親会は2011年10月16日(日)に開催されました。総会では、平成22年度収支決算および平成23年度事業計画等がとどこおりなく承認されました。総会に引き続き開催された懇親会では終始和やかな歓談が行われました。また、平成23年度懇親会に先立ち、平成24年3月で退職される大野先生の記念講演を開催しました。

今年度の同窓会総会・懇親会も大学主催のホームカミングデーに合わせ、10月21日(日)に開催されます。今年度は同窓会創立20周年であり、退職された先生方も含めて多くの現職教職員が参加予定です。多数の会員の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

同窓会からのお知らせとお願い**・ 会費の払い込みについて**

平成24年度会費を同封の払込用紙で郵便振替口座(00200-8-42851)にお振り込みください。年会費2千円で、その際卒業年度、1部、2部・短大・大学院を必ずご記入ください。本同窓会は神奈川大学の同窓会であり「社宮陵会」とは別組織となっております。その点をご理解して戴き、ご支援・会費の納入をお願いいたします。※本年度会計報告・来年度予算案は総会にて報告後HPに掲載予定です。

・ 現住所の連絡について

住所変更がありましたら同封のハガキ、FAX:045-491-7915、E-mail:dousokai@or.tv または会費払込の際に通信欄にてお知らせください。本同窓会会員の住所は「社宮陵会」のデータに基づいておりますので住所変更等の連絡は、どちらかにお願い致します。